

平成 24 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名	株式会社エフティコミュニケーションズ
代表者名	代表取締役社長 平 崎 敏 之 (J A S D A Q ・ コード番号 : 2763)
問合せ先	執行役員社長室長 山 本 博 之
電 話	03 (5847) 2777 (代表)

(訂正)「平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 7 月 24 日付「第三者調査委員会報告書の受領に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、平成 24 年 7 月 24 日付で受領しました最終報告書において、第三者委員会による調査・検討の結果、過年度における当社の取引に関して指摘を受け、過年度決算訂正の必要性を認知することとなりました。調査結果の事実を精査した結果、当該取引の発生した平成 22 年 3 月期第 1 四半期からの会計処理内容についての事実関係に基づき、事実に則した会計処理への訂正をするため、決算短信等の訂正を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては下線を付して表示しております。

記

(百万円未満切捨て)

(訂正前)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	30,262	7.2	335	△17.3	367	△11.8	230	90.2
22年3月期第3四半期	28,238	△3.8	405	—	417	—	121	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	2,140 54	2,111 87
22年3月期第3四半期	1,233 96	1,225 10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	14,936	4,446	23.4	32,560 50
22年3月期	14,229	4,370	24.2	31,999 48

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,501百万円 22年3月期 3,441百万円

(訂正後)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	30,262	7.4	335	△16.4	367	△11.8	230	90.2
22年3月期第3四半期	28,179	△4.0	400	—	417	—	121	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	2,140 54	2,111 87
22年3月期第3四半期	1,233 96	1,225 10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	14,936	4,446	23.4	32,560 50
22年3月期	14,229	4,370	24.2	31,999 48

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,501百万円 22年3月期 3,441百万円

(訂正前)

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.0	1,000	37.1	950	24.7	520	33.6	4,835 28

(訂正後)

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	6.1	1,000	37.9	950	24.7	520	33.6	4,835 28

(訂正前)

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)におけるわが国経済は、中国等新興国向けの輸出等堅調な外需に加え、エコカー補助金制度やエコポイント等緊急経済対策の効果もあり緩やかに拡大してまいりました。しかし、前記経済対策の終了又は半減により個人消費の伸びにかげりが見え、また、夏場から続く円高傾向、欧州における金融不安等経済環境の先行き悪化懸念等もあり、景気はまさに踊り場の状況となっているといえます。

当社グループの属する情報通信サービス業界は、スマートフォンやタブレット型端末への需要増大や通信事業による次世代ネットワーク及び次世代高速無線通信(LTE)等へ投資する動きが顕在化しつつあります。しかし、顧客のコスト削減意識の高まりによる情報通信機器の買換え期間の長期化、販売事業者間による競争激化並びにリース与信審査の厳格化等があり、厳しい環境が続いております。

このような事業環境の下、当社グループは、中小企業向けのビジネスホン、OA機器、携帯電話の販売強化を図るとともに、一般消費者向け光ファイバー回線サービスの拡販に注力いたしました。また、新卒新入社員の早期戦力化や、管理職のマネジメント力向上を目指した研修の実施等、人材の育成強化にも取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高につきましては、平成22年2月にコンシューマ事業において新たに5拠点のコールセンターを譲り受けたこと等により、前年同期の28,238百万円から2,024百万円増加し、30,262百万円(前年同期比7.2%増)となりました。利益につきましては、新卒採用の強化に伴い前年度末に比べて従業員が187名増加したことによる一般管理費のコスト増等が影響し、営業利益335百万円(前年同期比17.3%減)、経常利益367百万円(前年同期比11.8%減)、四半期純利益230百万円(前年同期比90.2%増)となりました。

各セグメントにおける業績は、以下のとおりであります。

(後略)

(訂正後)

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)におけるわが国経済は、中国等新興国向けの輸出等堅調な外需に加え、エコカー補助金制度やエコポイント等緊急経済対策の効果もあり緩やかに拡大してまいりました。しかし、前記経済対策の終了又は半減により個人消費の伸びにかげりが見え、また、夏場から続く円高傾向、欧州における金融不安等経済環境の先行き悪化懸念等もあり、景気はまさに踊り場の状況となっているといえます。

当社グループの属する情報通信サービス業界は、スマートフォンやタブレット型端末への需要増大や通信事業による次世代ネットワーク及び次世代高速無線通信(LTE)等へ投資する動きが顕在化しつつあります。しかし、顧客のコスト削減意識の高まりによる情報通信機器の買換え期間の長期化、販売事業者間による競争激化並びにリース与信審査の厳格化等があり、厳しい環境が続いております。

このような事業環境の下、当社グループは、中小企業向けのビジネスホン、OA機器、携帯電話の販売強化を図るとともに、一般消費者向け光ファイバー回線サービスの拡販に注力いたしました。また、新卒新入社員の早期戦力化や、管理職のマネジメント力向上を目指した研修の実施等、人材の育成強化にも取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高につきましては、平成22年2月にコンシューマ事業において新たに5拠点のコールセンターを譲り受けたこと等により、前年同期の28,179百万円から2,082百万円増加し、30,262百万円(前年同期比7.4%増)となりました。利益につきましては、新卒採用の強化に伴い前年度末に比べて従業員が187名増加したことによる一般管理費のコスト増等が影響し、営業利益335百万円(前年同期比16.4%減)、経常利益367百万円(前年同期比11.8%減)、四半期純利益230百万円(前年同期比90.2%増)となりました。

各セグメントにおける業績は、以下のとおりであります。

(後略)

(訂正前)
(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	28,238,012	30,262,147
売上原価	21,710,903	21,707,481
売上総利益	6,527,109	8,554,665
返品調整引当金繰入額	-	7,379
返品調整引当金戻入額	11,352	-
差引売上総利益	6,538,462	8,547,285
販売費及び一般管理費	6,133,061	8,211,979
営業利益	405,400	335,306
営業外収益		
受取ロイヤリティー	40,025	52,377
持分法による投資利益	-	23,063
その他	43,735	42,394
営業外収益合計	83,761	117,835
営業外費用		
支払利息	59,648	57,956
為替差損	-	21,551
その他	12,478	5,916
営業外費用合計	72,126	85,425
経常利益	417,035	367,716
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,239	31,283
その他	569	9,095
特別利益合計	14,808	40,378
特別損失		
投資有価証券評価損	42,564	7,311
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	7,416
その他	11,373	594
特別損失合計	53,938	15,322
税金等調整前四半期純利益	377,906	392,772
法人税、住民税及び事業税	163,150	164,543
法人税等調整額	14,570	△26,303
法人税等合計	177,720	138,239
少数株主損益調整前四半期純利益	-	254,532
少数株主利益	79,155	24,332
四半期純利益	121,030	230,199

(訂正後)
(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	28,179,512	30,262,147
売上原価	21,656,903	21,707,481
売上総利益	6,522,609	8,554,665
返品調整引当金繰入額	-	7,379
返品調整引当金戻入額	11,352	-
差引売上総利益	6,533,962	8,547,285
販売費及び一般管理費	6,133,061	8,211,979
営業利益	400,900	335,306
営業外収益		
受取ロイヤリティー	40,025	52,377
持分法による投資利益	-	23,063
その他	48,235	42,394
営業外収益合計	88,261	117,835
営業外費用		
支払利息	59,648	57,956
為替差損	-	21,551
その他	12,478	5,916
営業外費用合計	72,126	85,425
経常利益	417,035	367,716
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14,239	31,283
その他	569	9,095
特別利益合計	14,808	40,378
特別損失		
投資有価証券評価損	42,564	7,311
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	7,416
その他	11,373	594
特別損失合計	53,938	15,322
税金等調整前四半期純利益	377,906	392,772
法人税、住民税及び事業税	163,150	164,543
法人税等調整額	14,570	△26,303
法人税等合計	177,720	138,239
少数株主損益調整前四半期純利益	-	254,532
少数株主利益	79,155	24,332
四半期純利益	121,030	230,199

(訂正前)

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	ソリューション事業 (千円)	モバイル 事業 (千円)	サービス& サポート事 業 (千円)	マーケティング サプライ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,540,875	1,155,171	988,837	<u>16,553,128</u>	<u>28,238,012</u>	—	<u>28,238,012</u>
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	22,885	—	37,487	124,509	184,882	(184,882)	—
計	9,563,760	1,155,171	1,026,324	<u>16,677,637</u>	<u>28,422,894</u>	(184,882)	<u>28,238,012</u>
営業利益	566,026	41,946	146,272	<u>206,822</u>	<u>961,068</u>	(555,667)	<u>405,400</u>

(後略)

(訂正後)

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	ソリューション事業 (千円)	モバイル 事業 (千円)	サービス& サポート事 業 (千円)	マーケティング サプライ 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	9,540,875	1,155,171	988,837	<u>16,494,628</u>	<u>28,179,512</u>	—	<u>28,179,512</u>
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	22,885	—	37,487	124,509	184,882	(184,882)	—
計	9,563,760	1,155,171	1,026,324	<u>16,619,137</u>	<u>28,364,394</u>	(184,882)	<u>28,179,512</u>
営業利益	566,026	41,946	146,272	<u>202,322</u>	<u>956,568</u>	(555,667)	<u>400,900</u>

(後略)